

## <報道発表資料>

令和3年10月28日

### 埼玉大学の学生が知事に政策を直接提言 —消防団の加入促進やヤングケアラーへの支援など5テーマ—

埼玉県と埼玉大学は、若者の感性を県政に生かすとともに、学生に生きた学習の場を提供することを目的に、平成22年度から学生による知事への政策提言を行っています。

新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けながらも、学生はWEBを活用した県政出前講座の受講や調査活動など、政策研究を進めてきました。

今年度は次の5つのテーマについて提言をまとめ、「知事と埼玉大学学生の意見交換会」を開催します。

#### 1 政策提言のテーマ

- (1) アスリートへの就職支援  
「時代の先をゆく！明日をリードするためにアスリート雇用という  
選択肢を！ ～アスリート雇用を増やすためにアスサポにできること～」  
(経済学部 金井郁教授ゼミ)
- (2) 県庁舎の再整備に向けた検討  
「訪れよう！生まれかわった埼玉県庁」  
(工学部 久保田尚教授、小嶋文准教授ゼミ)
- (3) ストーカー被害者が相談しやすい環境づくり  
「その悩み、1人で抱えないで ～ストーカーは早期相談！～」  
(経済学部 江口幸治准教授ゼミ)
- (4) 消防団の加入促進  
「消防団：3step-D プロジェクト」  
※ 3step-D  
Driving school (自動車教習所)、Digital application (デジタル申請)、  
Digital point (デジタルポイント)  
(経済学部 齋藤友之教授ゼミ)
- (5) ヤングケアラーへの支援  
「皆で広げようヤングケアラー支援の輪」  
(経済学部 大津唯准教授ゼミ)

## **2 日時**

令和3年11月4日（木曜日） 午後1時30分から午後3時30分まで

## **3 会場**

埼玉大学 全学講義棟1号館3階 1-301講義室

（埼玉県さいたま市桜区下大久保255）

## **4 主な出席者**

埼玉県 大野元裕知事

埼玉大学 坂井貴文学長、指導教授、政策提言を行う学生約80人

## **5 概要**

- 学生による政策提言及び知事との意見交換
- 知事による全体講評

## **6 過去に提言が反映された主な事例**

- 若者に特化した消費者啓発

令和4年4月から成年年齢が18歳に引き下げられることを見据えて、若者への効果的な啓発方法として、遊びながら学べる「悪徳商法体験ボードゲーム」を提言。消費生活支援センターの広報チラシの裏面にボードゲームを印刷し、高校生向け消費生活講座や県立高校教員向けの研修会で配布した。

昨年度の様子



※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場の収容人数に制限を設けております。当日の参加は、大学関係者及び報道関係者のみとさせていただきます。